

第84回日本産業衛生学会 職業性ストレス調査票ユーザーズクラブ
ーワーク・エンゲイジメント，ワーカホリズム，リカバリー経験ー

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野
島津明人

【調査票の紹介】

<ワーク・エンゲイジメント>

- ・ 調査票：ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度：Utrecht Work Engagement Scale (UWES)
- ・ 概要：仕事に積極的に向かい活力を得ている状態を評価。
- ・ 尺度構成：17項目版と9項目版の2種類あり。活力(6/3項目)，熱意(5/3項目)，没頭(6/3項目)の3下位尺度。6件法(0=全くない-6=いつも感じる)。
- ・ 使用条件：研究目的の場合は無料。商用目的の場合は有料(1ユーザー=1ユーロ)，原著者に連絡。
- ・ 引用情報(日本語版)：Shimazu, A., Schaufeli, W. B., Kosugi, S. et al. (2008). Work engagement in Japan: Validation of the Japanese version of Utrecht Work Engagement Scale. *Applied Psychology: An International Review*, 57, 510-523.
- ・ 関連サイト：<http://www.schaufeli.com>

<ワーカホリズム>

- ・ 調査票：Dutch Workaholic Scale (DUWAS)
- ・ 概要：強迫的かつ過度に働く傾向を評価。
- ・ 尺度構成：働き過ぎ(5項目)と強迫的な働き方(5項目)の2下位尺度。4件法(1=感じない-4=いつも感じる)。
- ・ 使用条件：研究目的の場合は無料。商用目的の場合は原著者に連絡。
- ・ 引用情報(日本語版)：Schaufeli, W. B., Shimazu, A., & Taris, T. W. (2009). Being driven to work excessively hard: The evaluation of a two-factor measure of workaholism in The Netherlands and Japan. *Cross-Cultural Research*, 43, 320-348.
- ・ 関連サイト：<http://www.schaufeli.com>

<リカバリー経験>

- ・ 調査票：Recovery Experience Questionnaire (REQ)
- ・ 概要：ストレスフルな体験によって消費された心理社会的資源を元の水準に回復(リカバリー)させるための行動を尋ねる。
- ・ 尺度構成：心理的距離(4項目)，リラックス(4項目)，熟達(4項目)，コントロール(4項目)の4下位尺度。5件法(1=全く当てはまらない-5=よく当てはまる)。
- ・ 使用条件：研究目的の場合は無料。商用目的の場合は原著者に連絡。
- ・ 引用情報(日本語版)：島津明人・窪田和巳・川上憲人(2011). リカバリー経験尺度日本語版(REQ-J)の信頼性・妥当性の検討産業衛生学雑誌臨時増刊号, 53, 339
- ・ 関連サイト：http://www.uni-konstanz.de/sektionen/abopsych/?cont=staff_sonnentag&lang=en

【出版情報】2010年～現在までに出版された論文と著書

<論文(英文)>

1. Kubota, K., Shimazu, A., Kawakami, N., Takahashi, M., Nakata, A., & Schaufeli, W. B. (2010). Association between workaholism and sleep problems among hospital nurses. *Ind Health*, 48, 864-871.
2. Shimazu, A., Schaufeli, W. B., Miyanaka, M., & Iwata, N. (2010). Why Japanese workers show low work engagement? An Item Response Theory analysis of the Utrecht Work Engagement Scale. *BioPsychoSocial Medicine*, 4:17.
3. Shimazu, A., Schaufeli, W. B., & Taris, T. W. (2010). How does workaholism affect worker health and performance? The mediating role of coping. *Int J Behav Med*, 17, 154-160.

ほか39編。ワーク・エンゲイジメント関連の出版情報は <http://www.schaufeli.com> にあり。

<論文(和文)>

1. 島津明人 (2010). 総合病院での医師の働き方を支援するーワーク・エンゲイジメントに注目した自助と互助ー. *総合病院精神医学*, 22, 20-26.
2. 島津明人 (2010). 職業性ストレスとワーク・エンゲイジメント. *ストレス科学研究*, 25, 1-6
3. 島津明人 (2010). 人事労務必見 これからの職場のメンタルヘルス: ワーク・エンゲイジメントに注目した人と組織の活性化. *労働基準広報*, 1684, 6-15
4. 島津明人 (2010). 産業心理臨床のヒント: ワーク・エンゲイジメント. *臨床心理学*, 10, 791-792.
5. 窪田和己・島津明人 (2010). ワーク・エンゲイジメントに関する文献レビュー. *産業精神保健*, 18, 81-85.

<著書>

1. Albrecht, S. (Ed). *Handbook of Employee Engagement: Perspectives, Issues, Research and Practice*. Northampton: Edward-Elgar.
2. Bakker, A. B. & Leiter, M. P. (Eds.), *Work engagement: A handbook of essential theory and research*, 39-53. New York: Psychology Press.

【関連する学会情報】

1. 第15回欧州産業組織心理学会(EAWOP):2011年5月25-28日, マーストリヒト(オランダ)。ワーク・エンゲイジメント, ワーク・エンゲイジメントのシンポジウムあり。
2. 第65回日本交通医学会:2011年6月4-5日, 京都市。ワーク・エンゲイジメント・第一次予防に関するシンポジウムあり。
3. 第18回日本産業精神保健学会:2011年7月1-2日, 東京都千代田区。ワーク・エンゲイジメントに関する教育講演あり。
4. 第75回日本心理学会:2011年9月15-17日。職場のポジティブメンタルヘルスに関するワークショップあり。
5. 国際労働衛生会議(ICOH):2011年3月18-23日, カンクン(メキシコ)。ワーク・エンゲイジメントに関する特別セッションあり。